

## 青い空に

作詞 B.H.

君と僕との始まりは  
青い空 まだ残る 夏の夕暮れ時  
息をはずませ駆けてきた 不器用でまっすぐな  
君を愛しく思いはじめた

いつも一緒にいたよね 照れくさいのも嬉しくて  
眩しすぎたあの夏 急ぎすぎた僕たちは  
ただ前に歩いた

いつも一緒にいるよと 君に誓ったはずなのに  
変わる自分に問いかけ 人の言葉に流される  
これでいいのだろうか？

君と僕との歩む影  
少しずつずれてゆく もう戻れない  
楽しげな友たちの声 いつしか君の前で  
作り笑いの自分に気づいた

僕の自由と 君の理想が 遠くなる 遠くなる

似たもの同士だねって笑い合っていたから  
君も気づいていたんだろう  
強い立場と自惚れて 何も言わせなかった  
そんな僕はずるいね

僕の行く先と 君のこの「今」が  
遠ざかる 遠ざかる

君に答えを告げたのは  
青い空 どこまでも高い あの秋の午後

愛し合ったまま別れてきた  
時は過ぎ 今も僕は  
青い空を見上げているよ